

地酒で乾杯を推進する条例づくりの意見を

上越市議会では、文教経済常任委員会
 の場で、「上越市地酒で乾杯を推進する
 条例(案)」作りが進められてきました。
 今後はパブリックコメントなどで市民の
 皆さんのご意見を伺いながら、最終案を
 まとめ、議会に上程していく予定です。

上越市地酒で乾杯を推進する条例(案)

四季折々の豊かな自然に恵まれた本市
 は、多くの日本酒の酒蔵やワイナリーが
 存する酒造りが盛んなまちである。

伝統ある頸城杜氏の磨かれた技で醸し
 出された日本酒や、歳月の重みが生みだ
 す品格のあるワインなど、市内で製造さ
 れる酒類(以下「地酒」という。)の品
 質の高さは郷土の自慢である。

地酒による乾杯の習慣を広めること
 は、地酒の消費拡大や地産地消の推進を
 図るとともに、伝統産業を守り、地域資
 源の掘り起こしと情報発信等により地域
 の活性化につながり、上越市を元気にす
 る。

よって、ここに上越市地酒で乾杯を推
 進する条例を制定する。

(目的)

第1条 この条例は、本市の伝統産品で
 ある地酒による乾杯の習慣を広め
 ることにより、郷土愛の醸成を図
 り、もって地酒による乾杯の普及
 を通じた伝統文化への理解の促進
 に寄与することを目的とする。

日本共産党議員団でも、皆さんの声を
 お聴きしながら議論に参加していきたい
 と思っています。ぜひご意見をお聞かせ
 ください。左記の案は現段階のもので

(市の役割)

第2条 市は、地酒による乾杯の普及に
 取り組むよう努めるものとする。

(事業者の役割)

第3条 地酒を製造する事業者は、地酒
 による乾杯の普及に主体的に取り
 組むとともに、市及び地酒を販売
 し、又は提供する事業者と相互に
 協力するよう努めるものとする。

(市民の協力)

第4条 市民は、市及び地酒を製造する
 事業者が行う地酒による乾杯の普
 及に関する取組に協力するよう努
 めるものとする。

(嗜好等への配慮)

第5条 市、事業者及び市民は、この条
 例の施行に当たり、地酒に対する
 個人の嗜好及び飲酒に対する個人
 の意思を尊重するよう配慮するも
 のとする。

附則

この条例は、平成26年 月 日か
 ら施行する。

順位	愛称	理由	得票数
1位	かけはし	「議会と市民」との「かけはし」であり続ける「市議会だより」であるように、そして、未来への「かけはし」となる「市議会だより」であるように・・・夢と願いを込めて。市議会や市議会だよりが、市民と市政をつなぐ架け橋になってほしいから。 記載なし	21
2位	かがやき	未来ある上越	11
3位	前へ	不断の議会改革を進めていくという決意を込めたもの。旧安塚町出身の元明治大学ラグビー部北島監督の言い続けた言葉でもある。	6
4位	さくら	上越市は桜が有名だから。親しみやすくするためにひらがなにしました。 美しい桜の上越市	4
4位	つなぐ	市民に愛される桜と同様の議会であってほしい。 コミュニティの重要性から 人と人、人と市議会を「つなぐ」ための一つの手段 市民と議会を繋ぐ。市民の思いを議会に繋ぐ。	4
6位	こだま	市民の声は議会に響きますように。	3
6位	広がる声	議会活動や議会の取り組んでいる課題・問題などを読んで、市民の声がどんどん広がっていくことを願って	3
8位	かたらい	市議会だよりがより多くの家庭で読まれ、語ってもらいたいから。	2

議会だよりの愛称は「かけはし」に

議会各派代表者会議は7月22日、上越市議会発行の議会だよりの愛称を「かけはし」に決めました。

愛称については市議会の広報広聴委員会が中心になって検討し、市民から愛称を募っていました。最後は市民から寄せられたもののなかから議員の投票によって多数を獲得した案が愛称に採用されました。

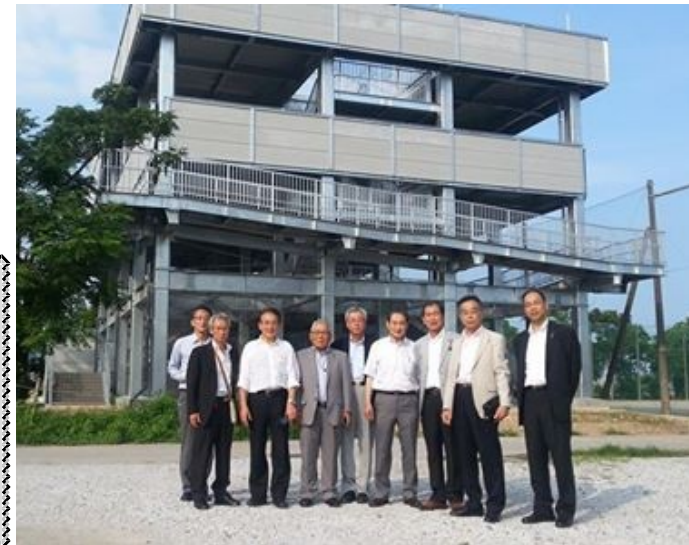
議員の投票は各議員が2つずつ選ぶ形で進められました。その結果、「かけはし」が21票で最多得票、第2位は「かがやき」の11票、第3位は「前へ」でした。

「かけはし」を提案された市民からは、「市議会だよりは市民と議会のかけはしになってほしい」「議会や議会だよりが市民と市政をつなぐ架け橋に」などの声が寄せられています。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.421 2014年8月3日

連絡先
 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)



高知市の津波避難タワーを視察

市議会総務常任委員会は7月15日、行政視察で高知市を訪れ、同市の避難計画などを学びました。(右から2人目が上野議員)

同市では南海巨大地震などを想定し、小学校区ごとに地域防災組織が津波避難計画書を策定しているほか、内閣府が示した津波浸水の予測時間や浸水の方向などを考慮し、津波からの避

難場所、避難ビルを設定しています。

写真は高知市桂浜近くにある種崎公園津波避難タワーです。総工費1億3千万円。600人収容できます。2階部分も利用できれば900人ということになります。

この視察で学んだことは22日に行われた総務常任委員会所管事務調査でも取り上げられ、活かされました。